

ドイツ語（初級 B） 不規則変化動詞のまとめ

《概要》

- 1) 不規則変化動詞のうち重要なものについて、どこがどう変化するかをもとに便宜的に分類してみた。
- 2) 教科書巻末の「不規則変化動詞」表から、緑地になっている部分をまとめている。ただし、混合変化は 9 つしかないため、あうべで掲載してある（緑地部分は太字）。

1. sein, haben, werden

不定詞	過去基本形	過去分詞	意味
sein	war	gewesen	〈1 格〉である、存在する
haben	hatte	gehabt	〈4 格〉を持っている
werden	wurde	geworden / (worden)	〈1 格〉になる

- ◇ 代表的な不規則変化の基本動詞 3 つ。むろん、3 基本形すべてを別々に覚える必要がある。
- ◇ werden の過去分詞には、geworden と worden の 2 種類が存在する。本動詞として使うときは geworden、受動の助動詞として使うときは worden を用いる。（⇒教科書 S. 55）

2. 強変化動詞

2-1. 母音だけでなく子音も変化するもの

不定詞	過去基本形	過去分詞	意味
essen	aß	gegessen	〈4 格〉を食べる
gehen	ging	gegangen	（歩いて）行く
schneiden	schnitt	geschnitten	〈4 格〉を切る
sitzen	saß	gesessen	座っている
stehen	stand	gestanden	立っている
tun	tat	getan	〈4 格〉をする、〈4 格〉を行う
ziehen	zog	gezogen	〈4 格〉を引く、移動する

- ◇ 母音が変化するのみならず、過去基本形や過去分詞に不定詞と異なる子音が現れるもの。こちらも 3 基本形すべてを別々に覚える必要がある。

2－2. 子音はすべて同じ、母音が 3 基本形ごとにすべて異なるもの（XYZ 型）

不定詞	過去基本形	過去分詞	意味
beginnen	begann	begonnen	〈4 格〉をはじめ、はじまる
bitten	bat	gebeten	〈4 格〉に頼む
brechen	brach	gebrochen	〈4 格〉を破る、破れる
finden	fand	gefunden	〈4 格〉を見つける
helfen	half	geholffen	〈3 格〉を助ける
liegen	lag	gelegen	横たわっている、ある
nehmen	nahm	genommen	〈4 格〉を取る
sprechen	sprach	gesprochen	〈4 格〉を話す、話す
trinken	trank	getrunken	〈4 格〉を飲む

◇ やはり 3 基本形すべてを別々に覚える必要がある。

◇ bitten – bat - gebeten や nehmen – nahm - genommen は、母音の長さが変わったことによって短母音を示す tt が t になり、長母音を示す h が落ちたにすぎない。

◇ beginnen は非分離動詞の扱いであり（基礎動詞の ginnen は現在では使われないが）、過去分詞には ge- がつかない。

2－3. 子音はすべて同じ、過去基本形と過去分詞の母音が同じもの（XYY 型）

不定詞	過去基本形	過去分詞	意味
bleiben	blieb	geblieben	とどまる、〈1 格〉のままである
fliegen	flog	geflogen	飛ぶ、（飛行機で）行く
scheinen	schien	geschienen	輝く、〈1 格〉に見える
schließen	schloss	geschlossen	〈4 格〉を閉じる
schreiben	schrieb	geschrieben	〈4 格〉を書く、書く
steigen	stieg	gestiegen	登る
verlieren	verlor	verloren	〈4 格〉を失う

◇ 不定詞のみ母音が異なるもの。過去分詞 = ge + 過去基本形 + en が成立する。

◇ ただし、verlieren は非分離動詞であり（基礎動詞の lieren は現在では使われないが）、過去分詞には ge- がつかない。

2－4. 子音はすべて同じ、不定詞と過去分詞の母音が同じもの（XYX 型）

不定詞	過去基本形	過去分詞	意味
fahren	fuhr	gefahren	（乗物で）行く
fallen	fiel	gefallen	落ちる
geben	gab	gegeben	〈4 格〉を与える
halten	hielt	gehalten	〈4 格〉を保つ
kommen	kam	gekommen	来る
lassen	ließ	gelassen	〈4 格〉させる（使役動詞）、〈4 格〉を放置する
laufen	lief	gelaufen	走る、歩く
lesen	las	gelesen	〈4 格〉を読む
rufen	rief	gerufen	〈4 格〉を呼ぶ、〈4 格〉を叫ぶ
schlafen	schief	geschlafen	眠る
schlagen	schlug	geschlagen	〈4 格〉を打つ
sehen	sah	gesehen	〈4 格〉を見る（知覚動詞）
tragen	trug	getragen	〈4 格〉を運ぶ
vergessen	vergaß	vergessen	〈4 格〉を忘れる

- ◇ 過去基本形のみ母音が異なるもの。過去分詞＝ge＋不定詞が成立する。
- ◇ ただし、vergessen は非分離動詞であり（基礎動詞の gessen は現在では使われないが）、過去分詞には ge-がつかない。
- ◇ fallen – fiel – gefallen、lassen – ließ – gelassen、vergessen – vergaß – vergessen は、母音の長さが変わったことによって短母音を示す ll が l になったり長母音を示す ß が現れたりしたもの。

3. 混合変化動詞

3-1. 混合変化の一般動詞

不定詞	過去基本形	過去分詞	意味
bringen	brachte	gebracht	〈4 格〉を持ってくる
brennen	brannte	gebrannt	〈4 格〉を燃やす
denken	dachte	gedacht	〈4 格〉を考える
kennen	kannte	gekannt	〈4 格〉を知っている（面識がある）
nennen	nannte	genannt	〈4 格〉を名づける
rennen	rannte	gerannt	走る
senden	sandte	gesandt	〈4 格〉を送る
wenden	wandte	gewandt	〈4 格〉の向きを変える
wissen	wusste	gewusst	〈4 格〉を知っている（知識がある）

◇ 一般動詞の混合変化は、この 9 種類しかない。

◇ 過去基本形と過去分詞の母音が同じなので（XYY 型、強変化の 2-2 に近い）、過去分詞=ge+過去基本形-eが成立する。

◇ 一部の動詞は、意味によっては規則変化となる。

- ・「〈4 格〉を放送する」の意味の senden : senden - sendete - gesendet
- ・「〈4 格〉を裏返す」の意味の wenden : wenden - wendete - gewendet

3-2. 話法の助動詞

不定詞	過去基本形	過去分詞	意味
dürfen	durfte	gedurft /(dürfen)	～してよい
können	konnte	gekonnt /(können)	～できる、～でありうる、～してよい
müssen	musste	gemusst /(müssen)	～しなければならない、～にちがいない
sollen	sollte	gesollt /(sollen)	～すべきである、～してほしい、～だそうである
wollen	wollte	gewollt /(wollen)	～したい
mögen	mochte	gemocht /(mögen)	～だろう、～が好きである

◇ 話法の助動詞は、基本的に混合変化をする。

◇ ただし、話法の助動詞の過去分詞には、ge-のつくものとつかないものの 2 種類が存在する。本動詞として使うときは ge-のつくもの、話法の助動詞として使うときは ge-のつかないもの（不定詞と同じたち）を用いる。さしあたり、ge-のつくものを覚えること。